

臨床研究に関する情報公開（一般向け）
可児とうのう病院

< 研究課題名 >

関節リウマチとロコモティブシンドローム・フレイルの関連についての研究

（英文課題名：the association between rheumatoid arthritis and locomotive syndrome and frailty）

< 研究期間 >

実施承認日～2029年12月31日

< 研究の目的・意義 >

ロコモティブシンドローム（ロコモ）とは、運動器の障害により要介護となるリスクの高い状態を言います。ロコモの原因として、変形性関節症、骨粗鬆症に伴う易骨折性、変形性脊椎症などがあげられています。変形性関節症、骨粗鬆症の患者は全国で4700万人とされているため、ロコモは国民病とも言えます。またフレイル（虚弱）とは、健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指します。一方、関節リウマチは、疾患活動性の増悪に伴い、痛み、関節可動域制限、筋力低下などが生ずるため、ロコモ・フレイルの原因疾患の一つであります。しかし、関節リウマチとロコモ・フレイルの関連を詳細に示した報告は少ないため、関節リウマチ患者におけるロコモおよびフレイルの実態を明らかにすることを今回の研究の目的としました。

< 研究方法 >

2018年1月から2029年3月の間に当院を受診した約200名の関節リウマチ患者さんのカルテ情報を使用します。具体的には身体所見、血液検査、画像検査などの項目を参照させていただきます。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、関節リウマチとロコモ・フレイルの関連について、検討させていただきます。

< 予測される利益・不利益について >

この研究に参加いただいた場合、患者さんに直接生じる利益はございません。また、過去の記録をもとに検討いたしますので、今回参加いただいた患者さんへの新たな負担や副作用などの不利益はありません。

< 本研究の実施について >

この研究は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を受けたうえで行われます。

もしも患者さんがこの研究へのご自身のカルテ情報の利用を望まれない場合には、この研究には使用いたしませんので、下記連絡先までご連絡・ご相談ください。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

連絡先：

研究責任者名

可児とうのう病院 整形外科 部長 幸島 寛

住所 岐阜県可児市土田1221番5

電話 0574-25-3113

FAX 0574-25-4657

苦情の受付先：

可児とうのう病院 整形外科 部長 幸島 寛

電話 0574-25-3113

<個人情報の保護について>

研究に用いるカルテ情報は全て匿名化して誰の情報かわからないような形にしてから解析を行います。したがって患者様の個人情報に他に漏れる心配はありません。匿名化されたデータやその他の解析資料等は、研究終了5年後、破棄いたします。

<費用について>

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また謝礼もございません。